



開催日 平成24年10月2日
 会場 女岩区コミュニティ防災センター
 参加人数 15人

女岩区町内会

質問 大飯原発の再稼働は、選挙で選ばれた代表者が決定権を行使した表れで、民意が反映されなかったのではないかと。浜岡原発が同じような経過をたどることも考えられる。浜岡原発の再稼働について、市長の見解を聞きたい。また、市が原発に対し、どのような議論をしているのかケーブルテレビで放映してほしい。

回答 浜岡原子力発電所は、当時の町が率先して誘致したものでなく、中部電力から申し入れがあり、町民（近隣町民含）に理解をしてもらい建設したものである。従って当局としては、国策に協力しているという認識で進んできている。東日本大震災における福島原子力発電所の事象を国が検証した中で、国民に説明し、進んでほしいと思う。再稼働については、あくまでも国策の中で国の判断を仰ぎたい。そして市民の皆さんの意見を聞き、それを反映し、過ちのない方向性を探っていきたい。

住民投票については、県議会が審議しており、県議会に首長が意見を言うことは失礼ではないかという気持ちがあるので、コメントは控えさせていただきます。

市議会においても、原子力対策特別委員会が、今年度から全議員が委員となり、ケーブルテレビを使って情報発信をしている。市民に理解いただけるようケーブルテレビなどを利用し、今後もしっかりやっていきたい。

にはいかないので、できる限りの応援はしていく。

質問 ケーブルテレビの番組表と操作方法を広報紙に掲載してほしい。音声告知放送も復唱してほしい。

回答 音声告知放送は、繰り返しの読み上げについて苦情がきた経緯があるため、一度として復唱した方が良く判断される。操作方法は、操作説明を記載した書類をケーブルテレビのファックスで送付し、それでも不明な場合は、訪問により説明している。

質問 災害時の緊急物資に関する国、県、市のネットワークについて聞きたい。

回答 災害時における物資の備蓄については、今年度も、防災倉庫などを購入し、それぞれの地区に物資、倉庫の配置を進めている。計画的に整備していきたいが、海抜の低い地域もあるので、高台へ設置するか町内会と相談して進めたい。

番組表は、郵送料や印刷代で1千万円以上経費がかかるため平成21年度に廃止した。文字放送やホームページで確認できるので、利用してほしい。

質問 女岩区の消防小屋建設（第10分団詰所）の状況について聞きたい。

回答 周りがすべて農地であり、農地法の問題で建設できない状況にある。地元の方々には、もう一度、候補地を探してほしいと依頼している。ご理解いただきたい。

質問 いざ災害になったとき一人一人がどのような対応をすれば良いのか、高齢者や子どもでもわかるような配布物がほしい。

回答 災害が起きた時の避難場所を家族で話し合っ決めておいてほしい。分かりやすい配布物については、ご意見を持ち帰って検討させていただきます。

また、消防団員の確保は、団全体の問題でもあるが、非常に厳しい状況にある。地域防災の中核を担う消防団を無くすわけ

